

世界のバリアフリー 児童図書展

IBBY選定
バリアフリー児童図書
2019



手話や点字・絵文字付きの本、学習障害、知的障害、発達障害のある若い人も共に楽しめる本、様々な障害について描かれている本など、世界20か国の40作品を展示します。カテゴリーを、Ⅰ「FOR」配慮：スペシャルアプローチ、Ⅱ「WITH」共に：ユニバーサルアクセス、Ⅲ「ABOUT」理解：ポートレート、以上の3区分に分けています。また、クリスマスの時期らしく、布の絵本やおもちゃも展示します。
共催：社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY) 協力：ぐるーぷ・もこもこ、よこはま布えほんぐるーぷ

2020年12月16日(水)～25日(金)

入場無料

開催時間 10:00～16:00 <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/>

会場 障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

主催・問合せ 障害者スポーツ文化センター横浜ラポール 文化担当

☎045-475-2055(文化直通) FAX045-475-2053

〒222-0035横浜市港北区鳥山町1752



前回の様子

世界のバリアフリー児童図書展

IBBY選定
バリアフリー児童図書
2019

バリアフリー児童図書とは、本を読んだり、見たり、理解したり、ページをめくる動作などにバリア（障害・障壁）がある子どもも楽しめるように、さまざまに工夫された本のことです。国際児童図書評議会（IBBY）では2年に一度、世界中から収集した障害のある子どもたちの読書を支援する書籍の中から特に優れた作品を選んで、推薦図書リスト『Outstanding books for young people with disabilities』を刊行しています。この展示会は、IBBYの日本支部であるJBBY（日本国際児童図書評議会）の巡回展で、横浜ラポールも協力しています。

今回の展示会では、2019年の推薦図書リストに収録された、点字付きの絵本、布絵本、障害のある子どもにも読みやすい本、障害を理解するための本など、世界20か国から選ばれた40作品を紹介します。

また、クリスマスシーズンにふさわしい布の絵本・おもちゃも展示する予定です。

本展示会の図書は3つのカテゴリーに分かれています。

カテゴリーⅠ 特別な形態のもの

点字の絵本、布の絵本、読みやすい活字の本があります。そのほか、シンプルなデザインの絵文字を使用した本が初めて加わり、全部で9作品を紹介します。

カテゴリーⅡ 誰でも楽しめるもの

特別な形態ではないけれども、誰にでも分かりやすく、学習障害、知的障害、発達障害などの子どもも楽しめる本7作品を紹介します。

カテゴリーⅢ 障害についてのもの

さまざまな障害について描かれている本24作品を紹介します。

IBBYとは？

IBBY=International Board on Books for Young People（国際児童図書評議会）は1953年、子どもの本を通して国際理解を広める目的で創設されました。現在は80以上の国と地域が加盟し、子どもと本を結ぶ活動に携わる人々の国際ネットワークになっています。

IBBY(国際児童図書評議会)
ホームページ <https://ibby.org/>

展示資料のポイント

- 資料解説を音声で読み上げる「i-Pen」があります。
- 点字の絵本、布の絵本があります。

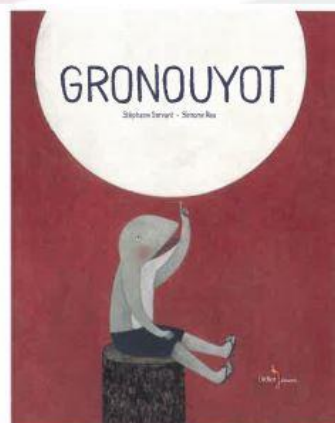
交通

JR・市営地下鉄新横浜駅から 徒歩約10分
新横浜駅からリフト付き送迎バスを運行（無料）
●障害者優先にご協力をお願いします。



文・絵：Ruillier, Jérôme | 原題：Quatre petits coins de rien du tout | 出版社：Les Doigts Qui Révent | 2017 | [17p] | ISBN 978-2-36593-070-3

8「まったく問題のない
小さな四角のおはなし」
フランス



文：Servant, Stéphane | 絵：Rea, Simone | 原題：Gronouyot | 出版社：Didier jeunesse | 2017 | [32p] | ISBN 978-2-278-08202-5

14「クロノヨット」
フランス



文：Kim, Hye-On | 絵：Shin, Seul-Gi | 原題：Bareameul Gareuda | 出版社：Samtoh | 2017 | [104p] | ISBN 978-89-464-1929-2

29「空気のがけら」韓国